

平成24年度

人間社会学部

授業公開講座

(前期)



公立大学法人

大阪府立大学

【平成24年度 人間社会学部 授業公開講座(前期) 講義概要】

講座番号：1 「西洋思想の系譜2A」 中村 治 教授

リン・ホワイト・Jrの「現在の生態学的危機の歴史的根源」などを読むことにより、キリスト教と環境問題の間にはどのような関係があると指摘されているのかを見たうえで、その指摘が妥当かどうかを、「創世記」に関するアウグスティヌスやトマス・アクィナスの解釈、ニコル・オレーム、フランシス・ベーコン、デカルトなどの思想の検討、『中世の産業革命』、『自然と人間』などの研究書を読むことによって考察し、人間と動物の関係、キリスト教と環境問題の関係について考える。

講座番号：2 「神経生理学」 角田 茂 教授

生命が地球上に誕生し、単細胞生物、多細胞生物、そしてヒトへと進化していく過程で、細胞間における情報伝達を有機的に統合するため、驚異的に発達したのが神経系である。本講義では、近年飛躍的に進歩した神経科学の知見をもとに、細胞レベルから個体レベルに至るまでの、神経系の働きについて論述する。特にヒトの脳に関しては、その解剖および記憶や睡眠などの生理学的メカニズムについて個々に概説する。

講座番号：3 「フランス文学の世界1」 村田 京子 教授

フランスにおいて、女性の職業作家が本格的に登場するのはフランス革命の後、印刷技術の発展、普通教育の普及、ジャーナリズムの台頭によって、小説が大衆に身近になった7月王政時代です。その中でもジョルジュ・サンドは男装およびその華やかな恋愛遍歴で有名で、『魔の沼』をはじめとして多くの作品が日本でも翻訳されています。しかし、サンドと同時代に生きた女性作家たちについてはあまり知られていません。本講座では、歴史に埋もれた、これらの女性職業作家たちを掘り起こし、その生涯と作品を辿ることで、「書くこと」が彼女たちにとって何を意味したのかを探っていきたいと思います。具体的には、女性ジャーナリストの草分けとも言えるデルフィーヌ・ド・ジラルダンと、労働者階級出身で、マルクスに先駆けて「労働者の連帯」を提唱したフロラ・トリスタンを取り上げます。教科書：村田京子『女がペンを執る時—19世紀フランス・女性職業作家の誕生』、新評論(初日に大学生協書籍部でお求め下さい)。

講座番号：4 「美術史学」 河野 道房 准教授

東アジア美術の中心である中国の、秦漢、魏晉南北朝、隋唐の出土絵画、特に壁画を考察の対象とします。具体的には、馬王堆漢墓帛画、酒泉丁家閘十六国墓壁画、北齊婁叡墓壁画、乾陵陪葬墓壁画等を紹介し、作品資料と文献資料の取り扱い方法を考えます。

これらの出土遺品は、日本の古墳時代から平安時代まで、現存作品がほとんどない時代の絵画を考える重要な資料であり、藤ノ木古墳、キトラ古墳、高松塚古墳等の遺物から、薬師寺吉祥天画像や平安絵画まで、日本古代絵画との関連が注目されるものです。

1. 授業概要と説明 2. 古代中国の絵画観 3-5. 前漢馬王堆漢墓帛画 6-7. 五胡十六国時代酒泉丁家閘5号墓壁画 8-10. 北齊婁叡墓壁画 11-13. 唐乾陵陪葬墓壁画

講座番号：5 「日本文学特殊講義B」 村田 右富実 教授

【天平万葉を読むⅡ】 729年8月5日、神亀は天平と改元されました。この改元は天平万葉の幕開けでもありました。この授業では、この天平二年後の歌々を読み進めることを通じて、万葉史の一部を構想することを目指します。具体的には、「大伴佐提彦歌」(5・八七一～八七五)、「書殿餞酒日倭歌四首」(5・八七六～八七九)、「敢布私懷歌三首」(5・八八〇～八八二)などを読み進めることとなります(括弧内は歌番号)。また、テキストは特に指定しませんが、万葉集は必ず持って来て下さい。初学者の方には、伊藤博氏訳注『角川ソフィア文庫 新版万葉集』一～四(角川書店)をお薦めします。



【平成24年度人間社会学部 授業公開講座(前期) 講義概要】

講座番号：6 「比較社会学A」 秋庭 裕 教授

東北アジアの宗教伝統のなかで、日本宗教の「救い」の論理と構造を考察する。そして、21世紀における、その「可能性」について考察する。

日本列島に生きる人びとの宗教的基層文化は、どのような特徴をもつのだろうか。そして、それはどのように変化してきたのだろうか。あるいは普遍的な要素とは何であろうか。21世紀初頭、国民国家のゆらぎ、世界経済の激動、いっこうに収束しない民族・地域紛争、環境問題の深刻化、そして、それらすべてを被うグローバル化の加速度を加えるような進展など、人類はこれまでに経験したことのない規模の大転換期を生きている。このような時代を生きざるを得ない私たちにとって、縄文から新新(しんしん)宗教まで鳥瞰し、私たちの文化伝統の屋台骨をなす、宗教文化を見直して行く。それは、「21世紀、東アジアの片隅で生きる私たちは、理論的に、いかに幸福に、死ぬことができるのか」を問うことである。

講座番号：7 「法社会学A」 和田 安弘 教授

【講義の目標】法とその周辺の諸概念(法律、権利、紛争、裁判など)を、社会との関係において、正確に捉え理解することが出来るようになることが目標である。そのために、社会とそれを構成する諸個人の相互規定的な関係、そこに発生する社会規範・ルール of 形態、社会秩序の維持と再生産の構造、そこにおける法と紛争の機能、紛争処理のモデルと実態、権利の観念と形成、などのテーマに分け入って考察を進めていく。

【講義の内容】1. 講義の進め方など、導入的な説明 2. 社会と個人はどのように関係しているのか 3. 社会化と社会統制のメカニズム 4. 社会化のメカニズムを支える「役割」と「地位」 5. 社会規範の基本的性格 6. 社会規範の諸類型と法の位置づけ 7. 法と法律(生ける法と実定法) 8. 法の発生(事実から規範へ) 9. 法的世界の成立(1次ルールと2次ルール) 10. 紛争の展開モデル 11. 紛争の実証的展開 12. 権利意識と権利観念 13. 日本人の権利観念 14. 全体を振り返って(内容確認) 15. 全体を振り返って(質問と応答)

講座番号：8 「科学思想の系譜」 斎藤 憲 教授

アルキメデスを取りあげます。アルキメデスは、古代世界最大の数学者の一人であると同時に卓越した技術者であり、ローマとの戦争ではさまざまな機械でローマ軍をさんざんに苦しめたことが知られています。授業では『方法』という著作を取りあげます。これはアルキメデスが、球の体積などの結果発見するために使った探求法の種明かしをした著作で、機械の製作にも関係したと思われます。この著作の分析を中心に、アルキメデスの生涯と時代背景も探っていきます。高度な数学やギリシャ語の知識は必要ありません。今年度は重心とつり合いに関係する別の著作『浮体について』も取りあげます。

教科書：林栄治・斎藤憲『天秤の魔術師アルキメデスの数学』(共立出版、2009. 3465円)

講座番号：9 「地域福祉論A」 小野 達也 准教授

地域福祉論Aの教育目標は、地域福祉の必要性や概念を理解させることです。地域福祉は、主流化したと言われていますが、その意味合いを考えます。講義の構成は3つに分かれています。まずはじめに、なぜ地域福祉が必要なのかを考察します。そのためには、現在の生活の仕組みを学ぶこととなります。次に、地域福祉を構築していくための枠組み、構成要件を考えます。最後に地域福祉に関する様々な考え方について検討します。地域福祉は、一部の人のためにあるのではなく、地域に住むすべての人に関わるもの、というのが基本的な姿勢です。

講座番号：10 「文化形成論入門4」 萩原 弘子 教授

文化の形成を論じる視点の基礎をお話しします。私たちは「フランスの文化」「イギリスの文化」というように、国家を単位として文化を見ることをよくします。しかし文化は、国家のなかではどこも一様というものではありません。また国家の境界を越えて文化的連続性や一体性がある場合もあります。本講では、西洋世界における近代国家が理念としてかかげた文化的一元性、また植民地統治方法としての文化的同化主義をふりかえりながら、文化と国家の関係を考えてみます。具体的にはスペイン、イギリス、フランスの国家による言語をめぐる文化政策に焦点をあて、現実の多言語状況と、国家による一元化政策の矛盾について講じ、批判的視点を培うことをめざします。

【 平成24年度 授業公開講座（前期） 】

講座番号	曜日	コマ	講座名	講師	定員	開講日
1	月	2	西洋思想の系譜2A	中村 治	15	4月16日
2		3	神経生理学	角田 茂	20	
3		4	フランス文学の世界1	村田 京子	20	
4		4	美術史学	河野 道房	30	
5	火	4	日本文学特殊講義B	村田 右富実	10	4月10日
6		4	比較社会学A	秋庭 裕	20	
7	水	2	法社会学A	和田 安弘	5	4月11日
8		3	科学思想の系譜	斎藤 憲	30	
9	金	3	地域福祉論A	小野 達也	10	4月13日
10		4	文化形成論入門4	萩原 弘子	5	

※各講座の教室は初回受付時にお知らせします。

2コマ：10時40分～12時10分 3コマ：12時55分～14時25分
4コマ：14時35分～16時05分

この授業公開講座では、本学の授業科目の一部（10講座）を一般の皆さまに公開し、学生とともに授業を受けていただける講座となっております。皆様のご参加をお待ちしております。

- ◆ 開講期間 … 平成24年4月10日(火)～平成24年7月30日(月) 10講座・各15回(予定)
- ◆ 講座会場 … 大阪府立大学 なかもずキャンパス 各教室 / 〒599-8531 堺市中区学園町1番1号
 - ・南海高野線「白鷺」駅下車 南西へ約500m
 - ・地下鉄御堂筋線「なかもず」駅下車 5号出口 南東へ1000m
 - ・JR阪和線「三国ヶ丘」下車 北野田駅行(310号線)バス15分「府立大学前」下車
 ※自動車・バイクでの来学はできません。
- ◆ 受講資格 … どなたでも(全期間を通じて受講できる方)。
- ◆ 申込締切 … 平成24年3月16日(金)《必着》
- ◆ 申込方法 … ①ご希望の講座名 ②氏名(ふりがな)・年齢 ③郵便番号・住所 ④電話番号をご記入の上、「ハガキ」または「Eメール」で下記宛先までお申し込みください(※携帯メール不可)。
 ※申込者多数の場合は抽選で受講者を決定します。結果については、全員に通知します。
- ◆ 申 込 先 … 〒599-8531 堺市中区学園町1番1号
 大阪府立大学 地域連携研究機構 生涯教育センター「授業公開講座」係
 E-mail: jin@ao.osakafu-u.ac.jp TEL: 072-254-9942
- ◆ 受 講 料 … 1講座 3,000円
 ※受講料は、各授業公開講座の初日にお支払いただきます。
 尚、一旦お支払いいただいた受講料は、返金いたしかねますのでご了承ください。
- ◆ 修 了 証 … 10回以上受講された方へ修了証を交付(希望者のみ)。
- ◆ 個人情報 … お申込の際の個人情報は、本学公開講座等に関する事務連絡以外の使用は一切いたしません。
 の取扱い